

「部落問題と向きあう若者たち」と向きあう

日時 2025年5月23日（金）13：00～14：30

場所 千里山キャンパス 尚文館 1階 マルチメディアAV大教室

講師 内田 龍史（研究員、社会学部教授）

2025年5月、『部落問題と向きあう若者たち2』（内田龍史著 解放出版社）が発刊される。本書は、雑誌『部落解放』の特集「部落問題と向きあう若者たち」として、2016～2022年に実施したインタビュー記録である第6弾から第10弾を再録・再構成したものである。

2009年から不定期に連載されている本特集の目的は、部落問題と向きあう＜人の魅力という可能性＞から部落問題の現状を伝えること、そのうえで部落差別を軽減させることを試みるものである。被差別部落出身者といっても多様性があり、一人ひとりの人生があるわけであって、同じ人はいない。しかし、当該社会の中での不利な立場にある少数派＝マイノリティを取り巻く社会問題としてしばしば生じがちなこととして、有利な立場にある多数派＝マジョリティが、マイノリティを、粗雑に一面的なカテゴリーのみで捉え、十把一絡げに、しかも否定的に評価するということがまみられる。他方でマイノリティによる社会運動は、自分たちの要求を社会に認めさせるための団結・連帯を必要とする。それゆえ、多様性よりも一枚岩の団結が必然的に強いられる傾向があるが、それは部落解放運動においても例外ではない。

こうした傾向に対して、「被差別部落の人」といっても一人ひとりに自分の人生があること、さまざまな課題に向きあいながら喜怒哀楽がありつつ生きているというごく当たり前のこと。そのことを少しでも知ってもらえば、部落差別の撤廃・部落問題の解決に向かっていくのではないか。

本講座では、そのような考えのもと、若者たちとのであいを重ねてきた筆者の立場から、若者たちが向きあっている現代の部落問題とはいかなるものかを紹介したい。

文献 内田龍史『部落問題と向きあう若者たち2』解放出版社、2025
内田龍史編著『部落問題と向きあう若者たち』解放出版社、2014

* * *

●聴講無料（定員200名／先着順）＜事前申込制＞

人権問題研究室ホームページ トップページ（<https://www.kansai-u.ac.jp/hrs/>）にある「新着情報」内の本講座案内ページの申込フォームから事前に受講申込をしてください。定員になり次第、受付を終了します。

空席がある場合に限り、事前申込をされていなくても聴講は可能です（当日会場にて参加受付を行います）。ただし、なるべく事前申込を行ってください。

* 手話通訳や介助者同伴等が必要な場合は、5月15日（木）までに人権問題研究室へご連絡ください。

第121回 10月24日（金）13：00 「神経発達症をとまなう子どもの理解の視点」

第122回 11月28日（金）13：00 「トランスジェンダー生徒と学校」

会場は、尚文館 1階 マルチメディアAV大教室（予定）



主催 関西大学人権問題研究室

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 阪急千里線「関大前」駅下車

Tel 06-6368-1182 Fax 06-6368-0081

e-mail: jinkenken@ml.kandai.jp

ホームページ: <https://www.kansai-u.ac.jp/hrs/>



「新着情報」をご参照ください